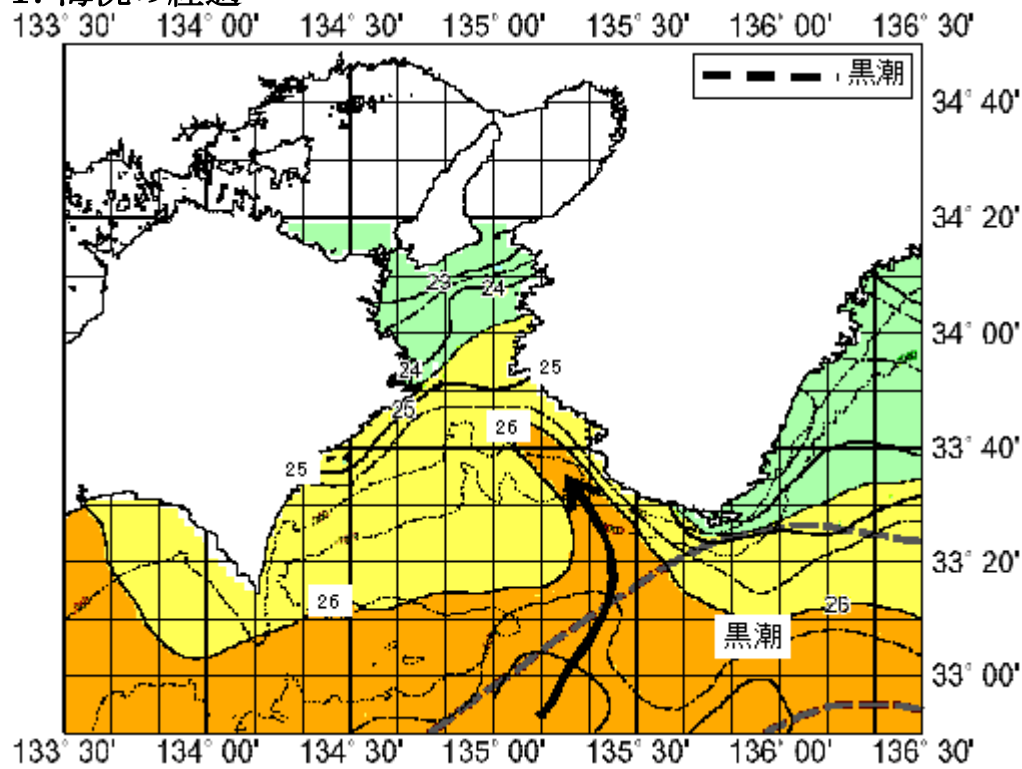


### 1. 海況の経過



#### 海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.07.07)を示した。

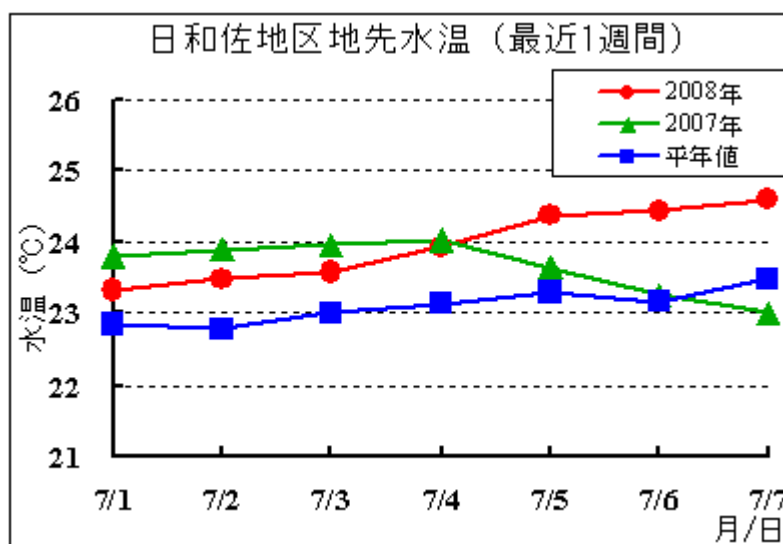
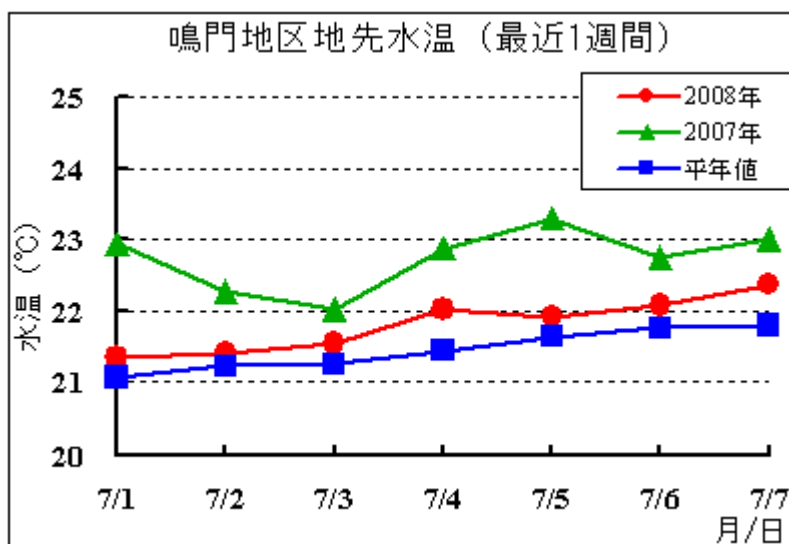
黒潮は室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は25～27℃台である。

表面水温は播磨灘が22℃台、紀伊水道内部が22～24℃台、外域が24～25℃台である。

潮岬沖で黒潮が接岸しているため、和歌山県側から26℃台の黒潮系水が流入している。

#### 地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の21.4～22.4℃、日和佐地区は「やや高め」の23.3～24.6℃、牟岐地区は「高め」の24.3～24.9℃で推移した。



### 2. 漁況の経過

**延縄:**海部沿岸で、小主体にアカムツが0.2トン(1日1隻当たり27kg)水揚げされた。

**小型定置網:**海部沿岸で、イズミが0.3トン(同15kg)、小小主体にカマス類が0.4トン(同7kg)、キビナゴが0.4トン(同89kg)、トビウオ類が0.4トン(同15kg)、小主体にマアジが3.7トン(同59kg)、マイワシが7.1トン(同296kg)水揚げされた。

**大型定置網:**海部沿岸で、大主体にイサキが1.6トン(同174kg)、ツバスが0.4トン(同133kg)、小小主体にマアジが0.2トン(同29kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、大主体にイサキが0.3トン(同9kg)、大・中主体にキハダが0.4トン(同43kg)、特大・大主体にゴマサバが0.3トン(同23kg)、紀伊水道で、特大・大主体にタチウオが1.4トン(同24kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 06月30日～07月06日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
延縄	海部沿岸	アカムツ	9	245	27	小主体	
小型定置網		イスズミ	17	251	15		
		カマス類	54	383	7	小小主体	
		キビナゴ	5	445	89		
		トビウオ類	25	383	15		
		マアジ	62	3,662	59	小主体	
		マイワシ	24	7,092	296		
大型定置網		イサキ	9	1,564	174	大主体	
		ツバス	3	398	133		
		マアジ	7	206	29	小小主体	
釣り		海部沿岸	イサキ	32	298	9	大主体
			キハダ	10	425	43	大・中主体
			ゴマサバ	14	316	23	特大・大主体
		紀伊水道	タチウオ	59	1,412	24	特大・大主体
パッチ網		シラス	99	9,075	92		

特異事項:

本県沿岸域に多く確認されたアカクラゲについては、減少傾向となっているが、ミズクラゲについては依然として多い。

週間予報:

黒潮は、室戸岬でやや離岸からかなり離岸、潮岬で接岸からやや離岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の22℃台、日和佐地先で「やや高め」の24℃台で推移する見込み。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50~1.49, 高め(低め):±1.50~2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上